

第2回稲毛区地域福祉計画推進協議会議事要旨

【1】開催

日時 平成20年8月23日（土） 午前10時～午後12時05分
場所 稲毛区役所 3階 講堂
出席者 委員19人（29人中）、ガイドヘルパー1人、手話通訳者2人、傍聴人1人、千葉市あんしんケアセンター2人（みどりの家、双樹苑）、事務局8人（稲毛福祉サービス課5人、千葉市社会福祉協議会稲毛区事務所3人）、市保健福祉総務課2人

【2】議題

- (1) 区地域福祉計画の取組状況調査について
- (2) 地域福祉計画推進モデル事業の申請状況について
- (3) 広報の発行について
- (4) あんしんケアセンターについて（事業説明、意見交換）
- (5) その他

【3】議事の概要

- (1) 区地域福祉計画の取組状況調査について
前回、市保健福祉総務課が各区推進協議会の場で取組状況調査（地域福祉の活動内容に関する情報提供用紙の提出）を依頼したが、稲毛区は提出が無かった。
- (2) 地域福祉推進モデル事業の申請状況について
市保健福祉総務課が申請状況の報告を行った。市内で23団体23事業の申請があり、稲毛区では、4団体4事業の申請があった。
- (3) 広報の発行について
事務局が広報の発行について説明し、編集委員の募集を行った結果、2人の委員の方に協力していただけることになった。（山崎委員、生島委員）
- (4) あんしんケアセンターについて（事業説明）
稲毛区内にある千葉市あんしんケアセンターみどりの家、双樹苑の職員の方があんしんケアセンターの概要とそれぞれ担当区域内の事例を発表した。
- (5) その他
 - ・ 委員から障害者の置かれている立場について意見があった。
 - ・ 拡張型心筋症を患っていた瀬川美由起さんが無事退院したことの報告があった。
 - ・ 千葉県地域福祉フォーラム設置支援事業の情報提供があった。
 - ・ 事務局から第3回、第4回区推進協の日程の調整について説明があった。
 - ・ 第3回が平成20年11月15日（土）、第4回が平成21年2月21日（土）に開催予定である。

【4】発言の要旨

議題（1）区地域福祉計画の取組状況調査について

保福総：前回、各区取組状況調査を皆様をお願いしたが、稲毛区においては提出が無かった。引き続き、前回提示した調査表に掲載されていない事業等が地域内の団体等で開催されていれば報告していただきたい。

委員長：議題を見ると区地域福祉計画の取組状況というようになっているが、これはどのようなになっているのか。今の話しは市モデル事業の報告だったのか。

保福総：前回、区推進協議会委員の方々に事前に調べた取組状況をまとめたものを提示させていただいたが、この取組状況調査表は完全ではない。この表に掲載されていないが既実践されている取組内容、もしくは知っている取組内容があったら情報提供用紙に記載の上、情報をお寄せいただきたいと思います。

委員：この計画書を作成するときに地域で活動していることは情報提供してあるので、これ以上のものを思いつかなかったため今回は情報提供しなかった。

保福総：計画書に掲載してある取り組みが、新しく地域で取り組まれているという経過を把握したいと考えている。

委員：前回行われた区推進協の議事要旨の4ページから5ページに渡って行政からの依頼内容が掲載してあるので、これを参照したらどうか。

委員長：今回は、稲毛区からは提出が無かったので、今後委員の方々に調査表には掲載されていない活動を既実践している方や知っている方がいたら情報提供をお願いしたい。

議題（2）地域福祉推進モデル事業の申請状況について

保福総：今回、地域福祉を推進する担い手づくりを目標として地域福祉推進モデル事業を募集した。モデル事業の申請件数は、千葉市内で23団体から23事業の申請があり、稲毛区からは4団体から4件の申請があった。主な内容として生活支援関係事業、子育て支援関係事業、障害者福祉事業であった。

また、来週の月曜、火曜日（8/25・26）に23団体の審査会を予定している。審査後は、申請団体へ通知をする他、ホームページ等で団体名、活動内容等を掲載する予定である。

議題（3）広報の発行について

委員長：昨年は、「稲毛区地域福祉計画推進協だより」を2回発行した。本年度の広報の発行について意見をいただきたい。

委員：私は、昨年度千葉市で発行した地域福祉活動事例集の編集委員を務め、稲毛区地域福祉計画の冊子に掲載してある広報の作成にも加わった。

委員長：広報委員と発行回数はどうのようにしたらよいか。

「稲毛区の推進協議会だより」なので、広報部会を立ち上げたいと考えているが、何名か協力していただけないか。

委員：広報紙は、町内自治会で回覧しているのか。

事務局：昨年は、A4サイズの表と裏で4,500部程度作成し、年2回発行している。自治

会を通じて回覧形式で配布をお願いした。

委員長：フォーマットはある程度決まっているので、その中に入れるものを事務局と一緒に協議していただきたい。

できれば、2～3人の方に協力をお願いしたい。

事務局：発行等については事務局で行うので、一緒に協議しながら校正をしていただきたいと考えている。

委員長：広報委員になっていただいた方から会議の状況や地域の情報などをいただきたい。

星野委員さん、いかがですか。

委員：土・日であれば都合がつくのだが、平日はちょっと難しい。

委員長：山崎委員さん、いかがですか。

山崎委員さんの推薦でもう一名お願いしたい。

委員：生島委員さん

委員長：生島委員という声が挙がっているが、いかがですか。

〔拍手〕

委員：打ち合わせの日に用事が入ってしまう可能性もありますが。

委員長：それは、双方と事務局で話し合って日程調整をお願いしたい。

事務局：広報紙のサイズについてはどうしたらよいか。

委員長：サイズ等については、予算の関係もあるので、広報委員と事務局で相談して決定していただきたい。

議題（４）あんしんケアセンターについて（事業説明）

説明者：千葉市あんしんケアセンター「みどりの家」：渡邊さん（主任介護支援専門員）

説明者：千葉市あんしんケアセンター「双樹苑」：飯田さん（社会福祉士）

千葉市あんしんケアセンターでは、主任ケアマネージャー、社会福祉士、保健師などが中心となって高齢者の皆さんの支援を行っている。3人は、それぞれ専門分野を持っているが、専門分野だけ行うのではなく、互いに連携をとりながら「チーム」として総合的に皆さんを支えている。

介護予防ケアマネジメント業務、権利擁護業務、総合相談支援業務、包括的・継続的ケアマネジメント支援業務等を行っている。

稲毛区は、みどりの家と双樹苑 2 箇所のあんしんケアセンターがあり、みどりの家の担当地域は、穴川町・穴川・稲丘町・稲毛・稲毛台町・稲毛町・稲毛東・黒砂・黒砂台・小中台町・小仲台・作草部・作草部町・千草台・天台町・天台・轟町・萩台町・緑町・弥生町である。双樹苑の担当地域は、あやめ台・柏台・小深町・山王町・園生町・長沼原町・長沼町・六方町・宮野木町である。

その他、各担当地域での事例を発表していただいた。

委員長：我々の活動は、健康高齢者をいかにして要支援又は要介護状態にしないようにするかを考えながら活動している。

今日のお話しには、お金に関することの説明が無かったようだが。

説明者：相談はすべて無料で行っている。

委員：介護予防教室は65歳以上の方の介護保険適用者であれば誰でも参加できるのか。広報等は、地域の回覧板で回してほしい。

説明者：一般高齢者は、市政だより等に掲載してある各種講座を利用していただきたい。特定高齢者は、介護予防相談を受けることができる。

委員：私の母親は、あんしんケアセンターの職員の方にいろいろとご相談に応じていただき大変お世話になった。

まだあまり知られていないようなので、あんしんケアセンターをもっとPRして行ってほしい。また、出張相談や電話相談も併せて充実していただきたい。

委員：市から委託を受けている事業であることは分かった。そこで、職員が3人から7人に増員となった経緯、地域の人材活用、公民館・自治会との関わりを伺いたい。

説明者：当初、主任ケアマネージャー、保健師、社会福祉士の3職種で業務を行っていたが、相談件数が当初の予定より増えたので増員した。また、出張相談の場所等は行政が直接交渉しているので、あんしんケアセンターが直接公民館にお願いすることはない。

委員：財政的裏づけを伺いたい。

説明者：地域によって高齢者の人口も高齢化率も変わってくる。その実績を基に市が決めている。

委員：出張講座は開催しているか。

説明者：各区2箇所ということで出張相談先が決まっている。

委員：当地域では、あんしんケアセンターの職員の方にいきいきプラザに来ていただき相談をお願いしたことがある。

委員：私達は、市民からあんしんケアセンターとはどういうところなのか、という声を耳にするので、公民館を使用し、高齢福祉課に依頼し、地区部会関係者、自治会関係者等を集め、あんしんケアセンターについての講演会をお願いしたことがある。今日のお話を聞いて、また一つ皆さんも理解が深まったのではないか。これを各委員さんは地域に持ち帰り、また分からないようであればあんしんケアセンターにお願いし、講演会等を開催し地域の方々と情報の共有をしていただきたい。

全国的には、地域包括支援センターという名称だが、千葉市では、あんしんケアセンターと呼ばれている。

委員長：あんしんケアセンターの話を聞いて、民生委員には情報が細かく流れている。

しかし、自治会には全くその情報が流れてきていない。

今日は、このような制度があるということを確認していただければよいと思う。

委員：当団体も健康・友愛精神を持って活動しているが、地域福祉の視点から高齢者の見守り体制を築いて活動している。ご協力、ご理解をいただきたい。

議題（5）その他

委員：地区フォーラムで障害者、高齢者が地域でどのようなことをしてもらいたいかを話し合った。現在、障害者は福祉が締め付けられていて、福祉が不十分な感じがする。通院する際、病院までの送り迎えは介護保険等で対象になりヘルパーをお願いできるが、病院内の付添いは介護保険適用外（障害者自立支援法でも）でヘルパーをお願いできない。もし、お願いする場合は、ヘルパーの好意によるものか、自費でお願いするしかない現状である。また、家に閉じこもりがちになってしまうが、趣味で出かけるときや通年での習い事等の付添いは対象外である。障害者が日常生活にも支障をきたしているということを皆さんにだけでもご理解いただきたい。

委員長：やはり障害者の問題も難しいところがあり、今後の課題でもある。

事務局：昨年の推進協議会でお話しさせていただいた拡張型心筋症を患っていた瀬川美由起さんが、無事4月24日に心臓移植が成功し、その後リハビリを行い7月18日に帰国された。先日、ご本人が挨拶に見え皆様によろしくお伝えいただいたと申し添えていたので、ご報告させていただきます。

委員長：先程、市モデル事業が稲毛区から4件申請があったとの報告があり、これから2件に絞られるが、これとは別に地区部会を対象として千葉県地域福祉フォーラム設置支援事業という事業の申請があるので、この情報を地域に持ち帰っていただき、地区部会の会合等で情報の共有をしていただければと思う。

事務局：次回の日程についてですが、例年第3回推進協議会は、11月下旬から12月上旬を予定しており、第4回推進協議会は、2月下旬から3月上旬に開催している。昨年アンケートを取らせていただいた結果、第3土曜日がよいという意見が多数あったので、第1回、第2回と第3土曜日に開催させていただいた。よって、第3回は11月15日（土）、第4回は2月21日（土）に開催したいと考えているがいかがですか。

委員長：皆さんいかがですか。

特に意見が無いようなので第3回、第4回は、この日程で開催したい。

以上